



5歳までのしつけや環境が、人生をきめる

お子さまのご入園・ご進級おめでとうございます。これから始まる新しい生活は、新入園児はもちろんのこと進級児にとっても、しばらくは緊張の毎日になるものと思われま...

さて、当法人の名前の「みみょう」は、仏説阿彌陀經というお経の中の「微妙香潔」から引用したものです。阿彌陀經は極楽を説明したもので、その一説に、池の中には大きな車輪のような蓮の花が咲いている。青いのもあれば、黄色や赤、白のものもある。それらが一齐に咲く様子は何とも言えないほど(微妙)得も言われぬ芳しい香りがあり清らか(香潔)であるとあります。園名には、一人ひとり持って生まれた個性を伸ばしてあげたいという願いが込められています。

新学期なので、少し難しいお話をします。表題の「5歳までのしつけや環境が人生を決める」は、ノーベル賞を受賞した経済学者ジェームズ・ヘックマン教授の言葉です。

5歳までのしつけと、子どもが自分のやりたいことを、粘り強く納得するまで遊びこむことで身につける、非認知能力と言われる目には見えない質の高い能力を伸ばすあそびができるか否かで、人生の過ごし方が変わるというものです。

非認知能力は3項目に分けられますが、①目標への達成意欲…忍耐力や自己制御、目標への情熱。②他者との協働性…社交性、相手への敬意、思いやり。③情動の制御…自尊心、樂觀主義、自分に対する自信。これらは大人になってからも必要な力ですが、0歳から5歳までに、「主体的、対話的な深いあそび」と言って、自分の思いを周りの仲間や先生と一緒にあって、考えたり工夫しながら納得するまで遊ぶと、乳幼児期は身体全体で遊ぶという特性があり、この三つの力が同時に発達するので、乳幼児期に質の高いあそびをすることの大

切さが、現在世界中で注目されているところです。

もう少し質の高いあそびについてお話をしますと、知的発達を促す非認知能力は、誕生後しっかり可愛がられ、励まされながら自分に対する自信を持つ自己肯定感が基礎になります。赤ちゃんの時からしっかりと愛情をそそいでもらい、普通の愛情で満足できるようになることが原点ですが、これは将来の優しさや思いやりにもつながります。可愛がられることで大人に対する安心感と信頼感を持った子は、赤ちゃんのときから大人が好きになり、大人が用意したいろいろな環境に興味や好奇心を持つようになります。1歳から2歳にかけて行動が広がり、保育者への信頼関係が深まると、3歳からはコーナー遊びなどで友だちと遊ぶことや工夫することが好きになり、あそびを通して集中力をつけたり、集団生活のマナーや保育者の設定した集団での一斉活動(学校教育)ができるようになります。

みみょうの保育・教育は、非認知能力を刺激してあそびを深めながら、同時に自分のことは自分で決める主体性を伸ばすことにあります。一人ひとり個性も違えば考え方も違います。最初からみんな一緒にではなく、これからは時間がかかって子どもたちとの対話を大切に、何をしたいかを話し合いながら、みんなの気持ちを高まるのを待つ保育や教育が求められるものと思います。

ご家庭でもお子さんの話をしっかり聞いてあげ、うなずき、はげまし、自分の存在に自信が持てるようにしてあげて下さい。

コロナ感染症は今年も身近に潜んでいるものと思われま。引き続き感染防止に気を付けながら、楽しい保育に努めてまいります。

本年もよろしくお願いたします。

理事長 松尾 龍一

年間行事予定表

Table with 4 columns: Date, Event Name, Date, Event Name. It lists various events throughout the year, such as 'Flower Festival', 'Parent-Child Distance', 'Nursery Visit', 'Christmas Party', 'Sports Meeting', and 'Graduation Ceremony'.

- ・誕生日会・避難訓練・身体計測は、毎月あります。
・★印は保護者も参加する行事です。
・◎印は地域参加行事です。
※行事の日程は変更することもありますので、毎月の行事予定をご確認ください。